

令和3年度第1回三重県精神保健福祉審議会
アルコール健康障害対策推進部会 議事概要

日時：令和3年9月3日（金）18時30分～19時30分

開催方法：Web開催

出席者：会長 猪野 亜朗 他委員10名

欠席：委員2名

【概要】

1 会長の互選及び会長の職務を代理する委員の指名

会長については、猪野亜朗委員に決定した。

会長の職務を代理する委員については、村田昌彦委員に決定した。

2 報告

三重県アルコール健康障害対策推進計画（第1期）の進捗状況について

＜事務局、担当課の説明＞

- ・資料1に基づき説明を行った。

＜委員の意見＞

- ・三重県は、行政から職能団体まで先駆的なことを行っているため、引き続き頑張っていきたい。
- ・「飲酒運転0（ゼロ）をめざす条例」のように、受診義務を定めている県は全国でも少ない。今後も効果の検証を行っていきたい。
- ・病院から自助グループへの紹介について、SBIRTSにより行っているが、コロナの影響もあり件数が減っている。また、今までは、病院内の例会に出向いていたが、コロナにより実施が難しくなっている。今後はZOOMで例会を行いたいと考えているので、病院に協力してもらいながら実施したい。

3 議事

（1） 三重県アルコール健康障害対策推進計画（第2期）の骨子案について

＜事務局の説明＞

- ・資料2-1～2-4、資料3に基づき説明を行った。

＜委員の意見＞

- ・三重県は先進的で、土台があるので、充実化を図りさらに発展させていきたい。

- ・国は、第2期計画に三重県が行っているS B I R T Sを取り入れた。

三重県でも、アルコール救急や総合病院の救急に運ばれる人たちに対して、警察とも連携して重点的に取り組んでほしい。

- ・アルコールに取り組む精神科医をどのように育てるかを次の対策に盛り込んでほしい。
- ・数値目標について、医療機関、精神科医を増やしていくという視点も必要ではないか。
また、医療から自助グループへの連携を数値目標としていく必要があるのではないか。
- ・ストロング系のお酒が安価で出回っていることについて、国に対して要望が必要ではないか。

(2) その他

<委員から>

- ・「三重アルコールと健康を考えるネットワーク」にご参加いただきたい。
- ・「アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会」が12月に三重県で開催されるので、行政としても啓発をお願いしたい。

<事務局>

- ・本日の意見をもとに骨子案を膨らませ、中間案を作成したい。